

令和7年12月5日
国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦導水工事事務所

工事発注手続きについて

～「R7霞ヶ浦導水高浜地区周辺整備工事」の発注手続きを行います～

霞ヶ浦導水工事事務所が発注する「R7霞ヶ浦導水高浜地区周辺整備工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7霞ヶ浦導水高浜地区周辺整備工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 難工事指定
3. 見積活用方式
4. 余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁以降をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 土浦記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 霞ヶ浦導水工事事務所

電話：029-822-3009（工務第一課直通） F A X：029-822-8865

副所長（技術） 松本（まつもと） （内線：205）

工務第一課長 城田（しろた） （内線：311）

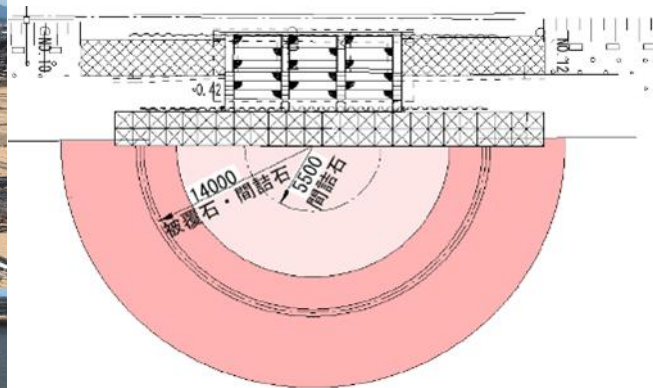
《工事概要》

- (1) 工 事 名：R7 霞ヶ浦導水高浜地区周辺整備工事
- (2) 工事場所：茨城県石岡市三村地先
- (3) 工 期：契約の翌日から令和8年9月30日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木 C 等級
- (6) 工事内容（概要）：

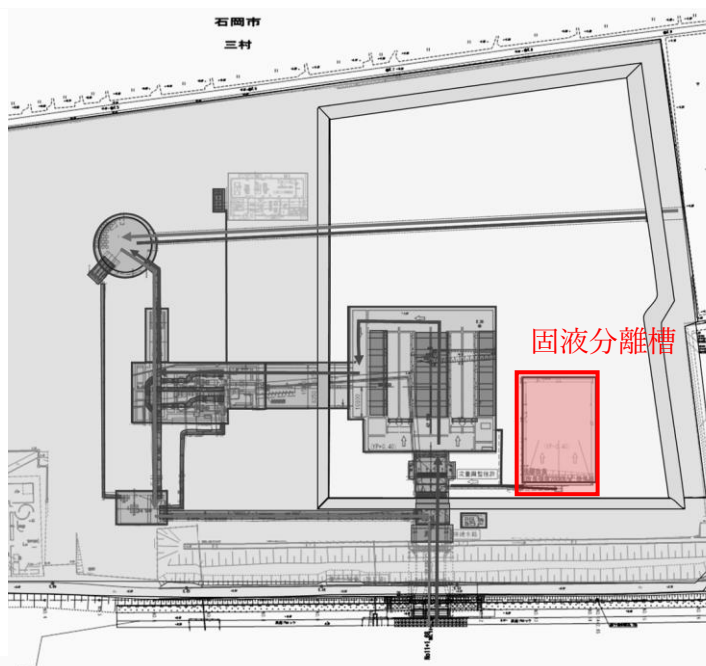
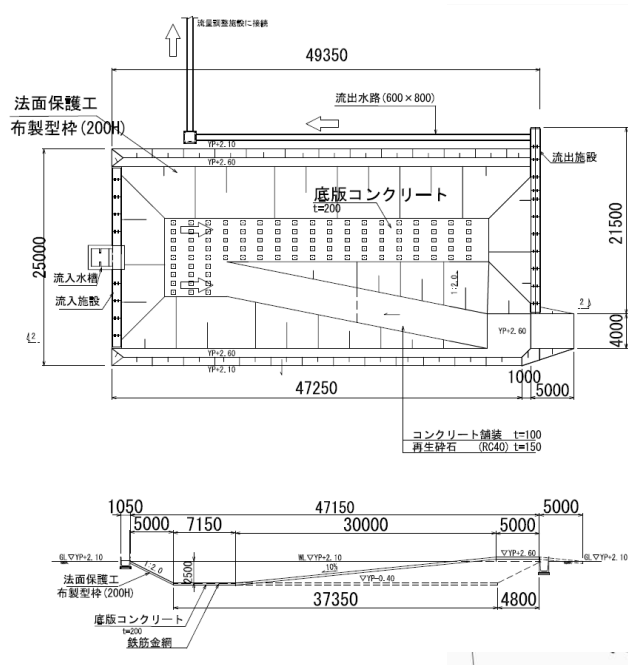
袋詰玉石製作・設置	約200個
捨石工	約1,000m ³
固液分離槽整備	1式
除草工	約10,000m ²
維持修繕工	1式
仮設工	1式

○霞ヶ浦導水施設の高浜地区において、袋詰玉石の製作及び据付け、固液分離槽整備等を実施します。

・捨石工（袋詰玉石製作・設置）



・固液分離槽整備



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術的難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 難工事指定

本工事は、工所用道路を河川内（霞ヶ浦）に設置し、河川水位以下でかつ軟弱地盤である、狭隘な作業ヤードで施工を行うものです。近接して第2機場工事が施工中であり、本工事と錯綜するため、緊密な調整が必要となります。このような条件下で厳しい工程管理、品質管理が求められるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

3. 見積活用方式

○見積もりの提出を求める工種

直接工事費のうち「袋詰玉石工」「捨石均し」

○見積の提出を求める理由

施工にあたっては、河川水位以下での施工であること、狭隘な作業ヤードにより作業効率が低下することが懸念されます。このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和8年9月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	: 令和7年12月 5日 (金)
○技術資料等の提出期限	: 令和7年12月19日 (金)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	: 令和8年 1月29日 (木)
○開札日	: 令和8年 2月 3日 (火)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 総合評価落札方式・企業実績評価型
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11.5点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は企業における防災に係る取組
姿勢と施工実績等+賃上げの実施
に関する評価+WLB関連企業の評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と
施工実績等を評価